

提出された意見とそれに対する市の考え方

提出された意見	市の考え方
施策体系について	
<p>第3章の1「本計画の施策体系」（8ページ）の図2の各文言と、第4章以降の各見出しの記述を統一した方がよいのではないのでしょうか。</p>	<p>図2の「施策の柱」を第4章の「節」の見出しに、図2の「施策の方向」及び「具体的取組」を第4章の「施策の方向」の各見出しに、それぞれ統一するよう修正します。</p>
ワクチン接種について	
<p>新型コロナウイルス感染症ワクチンの集団接種について、電話が繋がらない等の予約が取りにくい状況に対し、かかりつけ医で接種できるよう事前の対策が必要だったのではないか。</p>	<p>呉市感染症予防計画の第4節（14ページ）に記載のとおり、今後、新興感染症によるパンデミックが発生した際には、新型コロナウイルス感染症対応の経験を踏まえ、迅速な接種体制の確保ができるよう、平時から関係機関等と緊密に連携することにより、接種体制の強化を図っていきます。</p>
保健所の体制確保について	
<p>パンデミック時には通常の職員での対応は難しく、ボランティア等の対策も必要ではないか。</p>	<p>呉市感染症予防計画の第5節（25・26ページ）において、保健所職員の人員配置や業務内容の見直しについて記載しています。個人情報を扱うことや、感染リスクも考慮した対応が必要であるため、パンデミック時には、市本庁からの応援職員の配置やIHEAT（※）要員の活用等により、保健所の体制確保に努めます。</p> <p>※IHEATとは、感染症のまん延等の健康危機が発生した場合に、地域の保健師等の専門職が保健所等の業務を支援する仕組みのことをいう。医師、保健師、看護師のほか、歯科医師、薬剤師、助産師、管理栄養士などが、保健所等への支援を行うIHEAT要員として登録されている。</p>

|